

岩国西ロータリークラブ がん予防教育と音楽公演

カテゴリー：がん予防普及推進・青少年奉仕

日時 2017年10月4日

場所 岩国市立東中学校／川下中学校

参加者 東 中学校 生徒284名 同教諭25名 保護者18名
川下中学校 生徒464名 同教諭40名 保護者36名
岩国西ロータリークラブ会員34名

内容 兼田康史青少年奉仕委員長によるがん予防の講話
ヴァイオリニスト・石井啓一郎さん、
ピアニスト・啓子さんによる
クラシックコンサートを開催

経緯 第2710地区運営方針では、一昨年度から3年間「がん予防の普及推進」、青少年に対する「がん教育」を実践するよう示されました。これを受け、岩国西ロータリークラブでは、西村栄時パストガバナーをはじめ、関係委員会のメンバーによる対策会議を開催。様々なアイデアが出る中、郷土の誇りである音楽家・石井啓一郎さん(日本フィルハーモニー交響楽団首席ヴァイオリニスト)を学校へ招聘し、本物のヴァイオリンの音色を中学生に聴いてもらえたらという提案があり、ロータリークラブと学校との思いをそれぞれ実現する形で、事業実施を決定しました。

「がん予防教育」については、兼田康史青少年奉仕委員長が、がんという病気を他人事と思わず、関心を持って生活するよう具体的な注意点を示し、タバコの害や運動不足など、生活習慣に関心を持って健康的な生活を送るよう促しました。「音楽公演」は、ヴァイオリニスト・石井啓一郎さんとピアニスト・啓さんがクラシックの名曲モーツァルトの「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第3楽章K378」やベートーベンの「クロイツェル」、サラサーテの「チゴイネルワイゼン」などを演奏。合間に作曲家のエピソードや楽曲の紹介も交え、目の前で奏でられる優雅な響きに生徒達は聞き入っていました。

その他評価

学校では、情操教育として一流の音楽家などを招き、演奏会を行うことを望んでいるものの、経済的な面からなかなか実現できないのが現状。また、ロータリークラブが実施したい「がん予防教育」については、既に学校で「税教育」「薬物乱用防止」「性教育」など様々な団体の講話が実施されており、新たな講話をお願いするには、なかなかハードルが高い状況にありました。一方、石井さんはクラシック音楽の普及とファン層の拡大を希望しておられ、今回の中学生を対象とした演奏会を、その一環と考えておられることも分かりました。

以上のことから、この公演は、学校の「音楽公演への切望」、ロータリークラブの「がん予防の普及推進」、石井さんの「クラシック音楽普及」という、それぞれの思いが結集した大変有意義な事業となったのです。

今年度で「がん予防の普及推進」を3年間実践という事業は終了となりますが、学校からも期待されておりますので、今後も継続できればと思っております。

